



水 族 園 で
う む の か く れ ん ぼ

hide and seek

うみのかくれんぼ

海には、さまざまな方法でかくれている生きものがあります。

かくれることで、捕食者から身を守っているのです。

かくれることで、巧みに獲物を捕える生きものもいます。

「かくれるためのデザイン」は

生きものが「わたしはここにいません」と

発信するメッセージ。

みなさんもだまされないように・・・

水族園で生きもののかくれんぼを観察してみましよう。



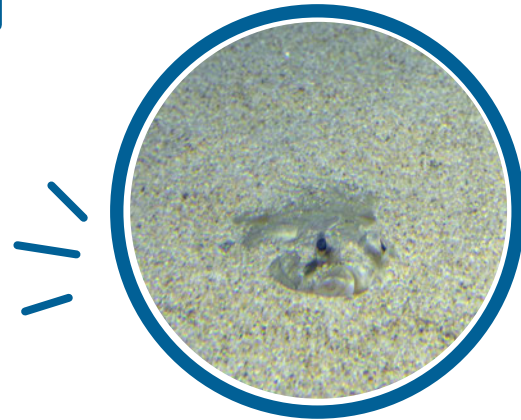
ここには
魚はいないよ
ただの岩が
あるだけだよ

カレイのかくれんぼ

海の砂底にくらすカレイのなかまプレイス。
平べったい体は、色ももようも砂そっくり。
まわりにあわせて色を変えることができます。
捕食者から見つかりにくいだけでなく、
獲物を捕えるときにも
見つかりにくいことが役立ちます。



砂の中にもぐって
目だけだしていれば
まわりのようすもわかるよ



トビハゼのかくれんぼ

平らな泥の海底が広がる干潟。

トビハゼは潮がひいた泥の上で活動します。

最大の敵である鳥から見つからないように

体の色は泥そっくり。

危険がせまると、泥に掘った巣穴や

アシ原の中に逃げこみます。



頭の上に飛び出た目は
遠くをみわたして
いち早く敵を
見つけるのに役立つよ



オニダルマオコゼの かくれんぼ

岩やサンゴがあるような
海の底でくらしています。
じっとしている姿は岩そっくり、
目や口がどこにあるのかもわかりません。
おまけに背びれの棘には
強い毒をもっています。
砂にもぐってかくれることも。

岩のふりをして
近寄ってきた獲物を
大きな口で
パクリと食べちゃうよ



オクヨウジのかくれんぼ

アマモ(海草)がたくさん茂る

アマモ場でくらしています。

茶色くて細長い体はアマモの葉そっくり

細い尾を葉っぱに巻きつけ、

ゆらゆらと動く様も

波にゆれる葉っぱのようです。



ストローのような
細長い口で
小さな生きものを
吸いこんで食べるよ



ヘコアユのかくれんぼ

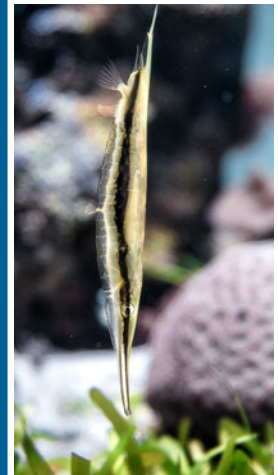
細くて平べったい体、さかさまに泳ぐ姿は
とても魚には見えません。

体の向きを変えると一本の細い線に見え
姿を消したかのよう。

海草の間に入ると、
ますます目立たなくなります。



体の黒いラインは
体の輪郭や
大事な目の位置を
わかりにくくしているよ



カクレクマノミの かくれんぼ

クマノミのなかまは
触手に毒をもつイソギンチャクと
一緒にくらしています。
危険がせまるとイソギンチャクの
触手の中にかくれます。
夜はイソギンチャクのベッドで休めます。



卵もイソギンチャクの
近くの岩などに
産みつけるよ

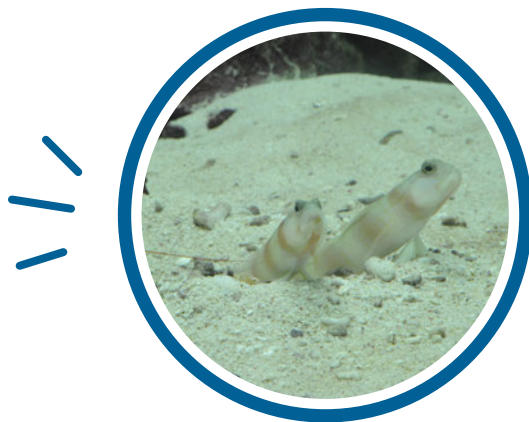


ダテハゼのかくれんぼ

ダテハゼはテッポウエビと一緒に
くらしており、危険がせまると
テッポウエビの掘った穴にかくれます。
ダテハゼは穴を掘ってもらうかわりに
見張り役として働きます。
危険がせまると、体をふるわせて
テッポウエビに教えます。



見張り役のダテハゼが
ふるっと体やひれをふるわすと
テッポウエビは長い触覚で
危険を察知！穴に逃げ込むよ



「スイミー」や「うみのかくれんぼ」のパッケージ教材など
学校向け教材集はこちら



動物園・水族園を活用した授業をやってみたい
調べ学習はどうしたら、などご要望・ご相談があればこちら



水族園でみつける「うみのかくれんぼ」
2024 教員対象セミナー